

開催日時：2003年3月8日（土） 16:30～18:40

場 所：京都リサーチパーク 地下1階 バズホール

参加者数：委員22名、他部会委員2名、オブザーバー1名、河川管理者18名、一般傍聴者61名

## 1 決定事項

- ・ 環境・利用部会の部会長代理として中村委員が決定した。
- ・ 短時間で効率的に議論を進めるために3つの検討班（自然環境、水質、利用）を設置することが決定し、リーダーとメンバー構成が以下の通りに決定した。なお、欠席された委員（下線の委員）については、後日、所属について確認した上で最終決定とする。
  - 自然環境：川端委員（リーダー）、西野委員（サブリーダー）、江頭委員、紀平委員、小林委員、田中（真）委員、谷田委員、寺川委員、長田委員、松岡委員、吉田委員、鷺谷委員
  - 水 質：宗宮委員（リーダー）、川上委員、田中（哲）委員、中村委員、原田委員、三田村委員、矢野委員、和田委員
  - 利 用：榎屋委員（リーダー）、有馬委員、井上委員、倉田委員、服部委員、細川委員、楨村委員、山村委員、山本委員、渡辺委員
- ・ 次回の部会（3/27）は当初部会が予定されていた時間（15:30～17:30）の前半2/3で検討班を開催し、後半1/3で第2回部会を開催する。それまでにリーダーを中心に各担当分野について班毎に検討内容を詰めておく。
- ・ 4月中に1～2回程度部会を開催する方向で日程調整を行う。

## 2 審議の概要

部会長からのあいさつ及び委員の紹介

部会長あいさつおよび委員の紹介が行われ、部会長代理の選出が行われた。上記「1.決定事項」参照。

部会での検討事項およびスケジュール

資料1「淀川水系流域委員会 第18回委員会 結果概要（暫定版）」、資料2「テーマ別部会について」、資料2補足「環境・利用部会の今後の進め方（案）」をもとに、今後の部会での検討事項やスケジュール、検討班の設置などについて説明が行われ、上記「1.決定事項」の通り決定した。主な意見は次の通り。

- ・ ダムに関して、「検討班を設けてはどうか」「部会でダムのみ議論する場を1、2回設けてはどうか」等の意見が出され、部会長から「ダムは全体に関係する問題なので、まず各班がそれぞれの視点で議論して部会でその結果を持ちより審議してはどうか。最終的には委員会で他部会からの意見も含め総合的に議論される」との意見が出された。
- ・ メーリングリストをつくるなど班のメンバー同士が双方向で議論できるよう工夫してほしい。

淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料(第1稿)に関する意見交換

河川管理者から、資料3-2-1「説明資料（第1稿）質問の回答」、3-2-3「委員からの質問と回答」を用いて、委員からの環境及び利用に関する質問と意見に対して回答があった。その後、河川管理者の説明に対して、委員からの追加質問があり、意見交換が行われた。主な意見は次の通り。

- ・ダムに関する回答の説明がなかったが、他の部会で説明されたのか。

ダムについて、再編に関する説明は治水部会で行ったが、環境に関係する部分はこの部会で説明すべきだった。回答内容は配布資料に記しているのでそちらを参照頂き、改めて説明が必要な場合にはまた説明させて頂きたい。(河川管理者)

- ・説明資料(第1稿)の5章で事業名と地名を記載している全事業について具体的な整備内容を記した個票(資料3-2-3の環境・利用部会部分の22頁以降に一部掲載)を作成中であり、でき次第委員宛に送付したい。(河川管理者)

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者からの発言はなかった。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。